

君津中央病院企業団  
第2次3か年経営計画  
(平成21年度達成状況)

君津中央病院企業団

1	第2次3か年経営計画の概要	1 ページ
2	主要施策の達成状況等	1 ページ
3	個別施策の項目別達成状況等	2 ページ
4	財務計画の達成状況等	2 ページ
5	財務計画の達成状況等の具体的な数値等	2 ページ
6	経営改革委員会の評価	2 ページ
	別表	3 ページ
	財務計画の達成状況	19 ページ
	経営改革委員会の評価	23 ページ

## 1 第2次3か年経営計画の概要

本計画は、君津中央病院企業団が、地域中核病院として担うべき良質で安全な医療を提供し、患者サービスの向上とともに、「経営の効率化」を図り、持続可能な病院経営を目指すために策定した、平成21年度から平成23年度までの3か年計画です。

## 2 主要施策の達成状況等

経営の効率化を進めるため、(1)経営指標に係る数値目標を設定し、(2)「収支の改善」と「経営の安定化と医療サービスの充実」の2つを主要施策に大別して、8施策65項目を体系付けています。

### (1) 経営指標に係る数値目標の達成状況

区分	21年度(目標値)	達成状況	達成率(%)	22年度	23年度	
病床利用率	本院	89.3	84.2	94.3	89.3	89.3
	分院	88.9	91.5	102.9	88.9	88.9
経常収支比率	本院	100.2	101.6	101.4	100.2	100.2
	分院	100.2	106.8	106.6	100.1	100.1
医業収支比率	本院	93.4	95.4	102.1	93.2	93.3
	分院	100.8	106.9	106.1	99.8	99.8
職員給与比率 (対医業収益比)	本院	60.5	58.3	103.8	60.9	60.8
		51.3	49.2	104.3	51.7	51.8
	分院	69.4	67.2	103.3	70.3	70.8
		51.0	50.0	102.0	51.8	52.3
材料費比率 (対医業収益比)	本院	24.8	26.4	93.9	24.8	24.8
	分院	13.5	12.8	105.5	13.5	13.5

※職員給与比率の下段の額は、給与費から賃金分を除いた額の比率です。

### (2) 主要施策の達成状況

#### 「収支の改善」

収支の改善は、5施策27項目から成り、各項目において平成21年度目標の達成に向け取組みを行いました。

医師及び看護師の確保対策については、概ね当初の目的を達成しました。引き続き、医師及び看護師の確保に努めていきます。

患者数の増加対策については、診療科目の拡大、予約、待ち時間の改善、一般病床の増床、紹介患者及び逆紹介患者の増加項目において良好な成績をあげました。今後、一層の取組みを要する項目として、当日電話予約の拡大項目があげられます。

収入の確保対策については、適正な平均在院日数の維持、薬剤師による服薬指導の強化項目において良好な成果をあげました。今後、取組むべき項目としては、結核病床の転用、医師事務作業補助加算の取得、経営改善職員提案制度、診療報酬査定減対策があげられます。

未収金の縮減対策については、患者情報共有化の推進項目において良好な成果をあげました。今後は、診療費支払方法の拡大に取り組むこととなります。

経営分析による経費削減対策については、材料費の節減、その他経費の節減(一部)、人件費の削減、業績評価制度の導入において良好な成果をあげました。今後は、その他経費の節減(残りの一部)、不採算部門の見直し項目において取り組むこととなります。

#### 「経営の安定化と医療サービスの充実」

経営の安定化と医療サービスの充実は、3施策38項目から成り、各項目の

目標達成に向けた取組み状況は次のとおりです。

医療提供体制の整備については、地域連携パスの検討、診療パフォーマンス指標の他施設比較、外部評価の推進項目において良好な成果をあげました。今後は、速やかな診療情報の提供、電子カルテシステムの導入項目について取組みを要すこととなります。

診療機能の整備充実については、ヘリポートの整備、救命救急センターの充実、新型インフルエンザ等感染症対策の充実、大佐和分院の敷地取得、ドクターカーの更新項目において概ね当初の目的を達成しました。

事務処理の効率化等については、病院各部署の改革、責任体制の強化項目において良好な成果をあげました。今後は、情報システムの整備等において更なる検討を重ねなくてはなりません。

### 3 個別施策の項目別達成状況等

収支の改善に係る5施策27項目、経営の安定化と医療サービスの充実に係る3施策38項目については、別表（3ページ以降）のとおり取組みました。

### 4 財務計画の達成状況等

財務計画については、次のような結果となりました。

業務量においては、本院は計画をやや下回り、入院延患者数・1日平均患者数ともに94.2%、外来延患者数・1日平均患者数ともに98.2%となりました。分院は、入院延患者数・1日患者数ともに計画を上回り103%、外来延患者数・1日患者数は計画を下回る86%になりました。

収益的収支計画においては、本院の経常利益が計画額3,000万円に対し、決算額は2億4,700万円、分院の経常利益が計画額100万円に対し、決算額は4,200万円となり、いずれも良好な結果を出しました。

資本的収支計画においては、収入から支出を引いた資金不足額が計画額23億8,500万円に対し、支出予算を執行したうえでの資金不足額は22億2,700万円となり、より少ない費用で計画の執行ができました。

内部留保資金の計画においては、損益勘定留保資金の翌年度繰越額が計画額28億6,700万円に対し、決算額は34億1,700万円となり、5億5,000万円の増加となりました。

経営指標においては、本院は経常収支比率、医業収支比率において良好な結果を示し、分院は病床利用率、経常収支比率、医業収支比率において良好な結果を示しました。

### 5 財務計画の達成状況等の具体的な数値等

財務計画の具体的な達成状況は、19ページ以降のとおりです。

### 6 経営改革委員会の評価

本計画は、経営改革委員会の点検を受け、その評価を公表することとしています。同委員会の評価は、23ページ以降のとおりです。

別表

1 収支の改善

1 医師及び看護師の確保対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	医師確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①千葉大学医局及び他大学医局への派遣依頼</li> <li>②民間人材斡旋事業者の活用（確保困難な診療科）</li> <li>③医師研究資金貸付制度（2分の1は県費補助） 3名</li> <li>④研修病院合同説明会への出展 後期研修医対象2回 初期研修医対象1回</li> <li>⑤求人誌への掲載</li> <li>⑥求人用動画サイトの作成</li> <li>⑦ホームページ、webサイトからの公募</li> </ul>	<p>平成22年4月と平成21年4月の医師数を比較すると6人の増員となりました。</p> <p>[内訳] &lt;21年&gt; &lt;22年&gt;            正職員 90人 → 94人            後期研修 27人 → 29人            初期研修 21人 → 21人            計 138人 → 144人</p> <p>[増員となった診療科]            呼吸器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、新生児科、外科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、病理検査科</p> <p>[減員となった診療科]            循環器科、呼吸器外科、心臓血管外科</p> <p>増員目標として正規職員医師を94名に設定しており、達成できました。</p>	<p>平成21年度と同様に取り組みを行っていき、医師確保を図ります。</p> <p>[目標]            平成22年度 正規職員100人            平成23年度 正規職員105人</p>
	臨床研修制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①初期臨床研修プログラムの見直しを実施</li> <li>②厚生労働省に対し、初期研修医の受け入れ定員3名増を要望</li> <li>③指導医の養成として、臨床研修指導医養成講習会への参加を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成22年度研修医より新プログラムにより研修を開始</li> <li>○初期研修医の定員が1名増となり8名の研修医を確保</li> <li>○講習修了済指導医4名の増加</li> <li>○後期研修医2名の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成21年度と同様に取り組みを行っていき、医師確保を図ります。</li> <li>○平成23年度研修医の定員2名増を要望します。</li> </ul>
	医師給与制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師の給与（給料、手当）制度について、県内の主要公立病院の調査を平成21年11月に実施</li> <li>○人事院勧告等に準じ、医師給料額の引下げの見送り（他の職種は△0.2%）</li> <li>○特殊勤務手当の新設（整理・統合）を平成22年1月に実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>①病理医に支給する「病理手当」及び麻酔医に支給する「麻酔手当」を整理・統合のうえ「特別勤務手当」に改正し、前記以外の確保が特に困難な診療科に従事する医師に対しても支給</li> <li>②近隣医療機関の医師不足を考慮し、地域医療の支援を行った場合に「地域医療支援手当」を支給</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安定勤務の誘導を図ることができました。</li> <li>○産婦人科医師1名を確保し、他の産婦人科医の業務軽減を図ることができました。</li> <li>○地域医療への貢献を図ることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○引続き、調査、検討を行います。</li> <li>○確保困難な診療科の医師の確保を推し進めます。</li> <li>○地域医療確保のため、支援の充実に努めます。</li> </ul>
②	看護師確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①県内外の看護系大学、短大及び養成所を訪問 春：県内16校、県外23校 秋：県内10校</li> <li>②民間人材斡旋事業者の活用 15名活用</li> <li>③合同就職説明会への出展</li> </ul>	<p>平成22年4月と平成21年4月の看護師数を比較すると、23人の増員となりました。</p> <p>[内訳] &lt;21年度&gt; &lt;22年度&gt;            保健師 1人 → 1人            助産師 13人 → 16人            （臨時） 2人 → 3人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成21年度と同様に取り組みを行っていき、看護師確保を図ります。</li> <li>○インターンシップ研修会を開催します。</li> </ul>

		千葉会場4回 東京会場2回 盛岡会場1回 ④求人誌への掲載 ⑤求人用動画サイトの作成 ⑥離職防止対策の実施 ⑦病院見学会の推進	看護師 481人 → 499人 (臨時) 21人 → 21人 准看護師 14人 → 12人 (臨時) 8人 → 11人	
③	看護師寄宿舍の整備構想の作成	看護師寄宿舍の現状調査及びあり方の検討を実施 ○施設面：耐震診断の概算費用の算出 ○運用面：要望調査等でインターネットの利用項目があり、環境整備の検討を推進	施設面での要望調査等で、自室にトイレ、バスがないこと等が挙げられ、自室の環境整備が必要であるとの結果が得られました。	今年度より、附属看護学校の将来計画が策定される中で学生寮の整備計画も含まれており、寄宿舍としての枠組で、併せて研究を行うこととします。
④	院内保育所の拡充	8月 利用者意向調査実施拡張規模の検討 10月 増築予算要望 1月 運営委託の長期契約検討 3月 院内運営委員会開催	○保育所利用の可能性のある看護師に対し、意向アンケートを実施。利用者の視点から備えるべき規模や機能について検討。 ○敷地の形状をもとに基本的な配置について検討。意向調査の結果と合わせて予算要望し、平成22年度予算で設計及び増設工事を行うこととなりました。 ○院内保育所運営委員会で保育所増築に伴う保育所サービスの方向性を検討。 [目標指標] 21年度末定員充足率94% (34人利用/36人定員)	平成22年 5月 設計委託契約締結 8月 建築確認申請手続 10月 増築工事契約着工(工期概ね5ヶ月) 12月 平成23年度以降の運営委託業者コンペ実施 平成23年 3月 増築完成 4月 運用開始
⑤	医師及び看護師の勤務状況の改善	例月毎に、時間外勤務(超過勤務)の実態を調査し、1ヶ月に80時間を超える者に対しては、所属長及び職員本人あてに、時間外勤務の縮減及び定期健康診断の受診を促すことを通知 延べ人数:19名(医師)	増員による縮減及び健康管理の徹底を図ることができました。	引続き、実態調査及び職員への周知を図ります。

## 2 患者数の増加対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	診療科目の拡大	医師の確保(採用人数) 救急・集中治療科医(1) 放射線科医(1) 脳神経外科医(1) 産婦人科医(1) 病理医(1) 腎臓内科の拡大 腎臓内科医1名採用 外来診療枠の拡大 入院病床の配分(5床) 透析の本格稼動	8月 救急医の採用 10月 放射線科医の採用 11月 脳神経外科医の採用 1月 産婦人科医の採用 3月 病理医の採用  4月 腎臓内科医の採用 外来予約診療を毎日実施 5月より5床配分	引続き医師の確保に努めます。  透析センター増床の設計、実施
	透析センターの拡大	院内検討組織の設置 施設、設備計画、職員配置計画、収支計画等を検討	8月・血液浄化療法センター開設準備室の設置 ・院内施設機能検討委員会血液浄化療法センター一部会構成員の選出	平成22年度の拡大運用を目指します。

			9月・開設準備室会議の定例開催(毎週金曜日) →設置規模、場所等の検討 1月・実施設計委託 ・平成22年度当初予算における改修工事費の予算措置	
②	外来施設機能の充実	○医師数増が見込まれるので臨床研修医研修室の確保 ○病理医増のため病理医研究室の確保	左記の計画案の策定(年度末のため予算未措置)	○医局会議室を臨床研修医研究室に改修予定(平成22年9月まで) ○医局会議室の代替会議室の確保 ○病理医室を改修増築予定(平成22年9月まで)
③	予約、待ち時間の改善	4月 各科予約診療待ち時間調査実施 12月 待ち時間調査実施 1月 データ解析	各科診療予約枠の増設による患者数の増加 [解析結果] 平成21年4月 予約時間～診察終了時間 全体平均待ち時間39分 平成21年12月 予約時間～診察終了時間 全体平均待ち時間37分	○予約診療待ち時間調査に基づき各診療科の現状調査外来委員会を開催し、改善対象科の選定 ○外来委員会から業務改善委員会に改善対象科を報告 ○業務改善委員会にて改善対象科の部長ヒアリング ○診療体制の改善策を検討(診療予約枠の変更等) ○実施及び効果検証(患者待ち時間調査)
④	当日電話予約の拡大	前年度より、小児科の当日受付を実施中 8月 外来予約枠の確保が困難な診療科もあり、継続して協議 12月 待ち時間調査の結果を勘案し、外来委員会にて提案、協議	現在、ほとんどの診療科で外来患者様への当日予約の対応が出来ておらず診療制限を行っている状況。電話予約枠を設定する事が非常に困難な現状です。	各科の予約枠の現状調査、診療状況ヒアリングを行い、再度電話予約の実施を検討。
⑤	紹介患者及び逆紹介患者の増加	○紹介及び逆紹介患者数の増加のための方策の検討 ○院内への周知及び実施 ○実績の積上げ	[実績] 紹介率 逆紹介率 平成21年度 49.4% 34.1% 平成20年度 40.7% 27.1%  紹介率、逆紹介率ともに上昇	引続き実績を積み上げ、紹介率または逆紹介率の向上について検討。
⑥	一般病床の増床	回復病床を一般病床に転用	5月より10床の許可を受けました。 5西病棟:2床 6西病棟:2床 7西病棟:2床 8西病棟:2床 9西病棟:2床	引続き、増床した病床を有効利用します。

### 3 収入の確保対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	地域医療支援病院*1の承認	○紹介及び逆紹介患者数の増加のための方策の検討 ○院内への周知及び実施 ○実績の積上げ	[実績] 紹介率 逆紹介率 平成21年度 49.4% 34.1% 平成20年度 40.7% 27.1%  紹介率、逆紹介率ともに上昇 ※地域医療支援病院の認定には、紹介率60%以上かつ逆	引続き実績を積み上げ、紹介率または逆紹介率の向上について検討します。

			紹介率30%以上または、紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上の前年度実績を要します。	
②	医師事務作業補助加算の取得	9月 看護局と話し合い開始 検討組織案作成	平成22年度実施に向けての体制を試行しました。	医師事務作業補助体制加算算定に向けての研修、申請。
③	病床利用率の向上	4月 病床委員会による診療科別病床配分の見直しを検討	医師の負担軽減等効果を得ました。	引続き検証をおこない、病床利用の向上等に努めます。
		5月 見直し後の病床配分による病床運営開始 9月 病床委員会による一部病棟の検証		
	結核病床の転用	転用する場合の費用対効果等について検討	看護師増員の必要等、転用に要する検討事項が明らかになりました。	引続き検討します。
④	ドクターヘリの本格稼働	年度を通して事業を実施	87,832千円/年の医業収益を計上(補助金除く)	引続き年度を通して事業を実施します。
⑤	適正な平均在院日数の維持	○3ヶ月毎に疾病別の在院日数、診療内容を検証し、増収・減収の他施設比較を実施 ○クリニカルパス等の改善が可能なのか、診療科と協議	○疾病毎の対応がクリニカルパス等の改善などで医師との調整が随時可能となりました。 ○地域連携室の活動で退院患者における地域の医療機関介護・在宅施設の受け入れは協力的で連携はスムーズになっていますが、施設の収容人数の問題もあるので待機期間の長期化解消に繋がりませんでした。	○過去1年間における当院DPC*2在院日数の分析他施設との比較による疾病毎の標準的在院日数の割り出し及び診療内容の比較 ○医師への情報提供 ○各診療科、地域連携との調整、協議収支改善対策実施
⑥	薬剤師による服薬指導の強化	薬剤師の病棟業務に従事する時間を増加させ、入院患者の持参薬を含めた服薬指導件数を増加	[実績] 薬剤管理指導料3(325点) 3,702件/年=12,032千円	引続き服薬指導件数の維持に努めます。
⑦	診療報酬査定減対策	○研修会・勉強会への参加(院内外):14回 ○外部講師によるDPC院内研修会開催:1回 ○DPC対象病院との交流による情報交換の促進 ○随時 ・各科(医師、看護師等)と診療報酬に関する勉強会の開催 ・医事担当職員の共通認識の確保 ○毎月 ・医事委員会の開催 ・査定傾向(減内容)の分析と医師への報告 ・減点されない症状詳記の作成依頼(検査数値の記載、図示の添付、誰でも読める字、横文字・略語を避ける、医師名の記載	外来4月~3月 平均0.04%(前年比△0.01%) 入院4月~3月 平均0.41%(前年比 0.11%) 全体4月~3月 平均0.33%(前年比 0.09%)	随時 各科(医師、看護師等)と診療報酬に関する勉強会の開催 毎月 ・査定減対策研究会を開催し査定傾向(減内容)の分析と再審査請求の検討を医師への報告 ・請求漏れや査定減防止に必要な「予測力」(病名や診療行為を確認した後に、関連する診療報酬項目を予測する力)の習得。これにより診療報酬のルール遵守、医学的な妥当性の根拠がレセプト(診療報酬明細書)で確認でき、正確な請求明細書作成につながります。 院外のDPC勉強会、診療報酬勉強会への参加

		による詳記の責任等) ・再審査請求の徹底(当医療機関の取り組み姿勢、審査員へのアピール)		
⑧	経営改善職員提案制度	○実施規程の作成 ○職員への提案事項の募集 ○提案内容の審査、採用可否の決定、採用内容の職員への周知 ○採用内容の実施	○君津中央病院企業団職員提案規程を11月30日付け訓令第5号にて制定し、12月1日より施行。 (平成21年度は、職員からの提案事項はありません)	引続き職員への周知をおこない、経営参画意識の向上に努めます。

#### 4 未収金の縮減対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	診療費支払方法の拡大	7月 ○クレジットカード及び現金自動支払機を導入している他施設の情報収集 ○クレジットカード会社打合せ及び機器見積書提示 8月 ○他施設訪問現場確認 ○現金自動精算機機器類の説明、6台使用した場合の見積書徴収(40,000千円) ○クレジットカード会社と打合せ(他施設の現状等) ○他施設情報収集(旭中央病院、松戸市立病院、成東病院) 9月 ○クレジットカード会社と打合せ 10月 ○東京三井記念病院視察 2月 ○クレジットカード会社と打合せ	なし	○平成22年4月16日旭中央病院視察 ○平成23年度当初導入に向けての準備
②	患者情報共有化の推進	支払困難な患者のMSW*3の早期介入による対応  随時 各診療科医師へ患者情報を提供し共有化	4月～3月 支払困難な患者のMSWの早期介入による取扱件数は、約120名を対応  随時 各診療科医師へ患者情報を提供し共有化	[支払困難な患者に対するMSWの介入促進] ○診療科、病棟、外来、医事課において支払困難な患者を把握した場合にMSWの早期介入の実施 ○MSWの指示の下、情報を共有化して対応を検討(悪質な未収患者への対応) ○各診療科、病棟、MSWと医事課との相互連絡により、再来時、再入院時の未収患者との接触、面談の強化
③	未収金徴収対策の強化	12月 事務局管理職による訪問徴収の実施 3月 事務局管理職による訪問徴収の実施  未収金担当者による情報収集	訪問徴収 12月実績 訪問件数98件 金額34,720円 3月実績 訪問件数108件 金額49,000円	[検討] 小額訴訟等の制度活用検討 ・債権回収業者(民間事業者)の活用(委託の検討) ・関係市の状況、他自治体病院の状況調査 担当職員の配置検討 ・窓口会計担当と未収金担当

	共有化の推進、未収金回収の 随時対応	21年度未未収金発生額 20年度対比 3%減 21年度未未収金額 20年度対比 0.7%減	職員の分離(法的手段担当 の職員配置) 債権回収業者委託の検討 [実施] ・支払督促制度活用のための 資料作成(支払督促の実施) ・担当職員の配置 ・法的手段の実施 ・債権回収業者の選定
--	-----------------------	--	---

5 経営分析による経費削減対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	人件費の削減	千葉県、構成市及び県内主要病院等の給料、手当(管理職、地域、住居等)の制度について調査を実施 ①人事院勧告等に準じて、給料月額(0.2%減)及び期末・勤勉手当(0.35月分減)の引下げを実施 ②管理職手当の引下げ(支給率の30%減)を実施	①企業団全体で、△118,640千円の削減を図ることができました。 ②企業団全体で、△23,477千円の削減を図ることができました。	引続き調査、検討を行います
②	材料費の削減	[薬品費] スケールメリットによる値引率向上を図るため、卸業者5社から3社に変更。3ヶ月毎に購入単価を見直し、価格交渉を実施	購入品目及び数量が、平成20年度と同じと仮定した場合の差額(変動費なので単純比較するため) <4月～6月> H20購入額 610,897,349円 H21仮定額 587,650,830円 差額 23,246,519円  <7月～9月> H20購入額 283,388,688円 H21仮定額 273,907,479円 差額 9,481,209円  <10月～12月> H20購入額 551,372,763円 H21仮定額 538,462,408円 差額 12,910,355円  <1月～3月> H20購入額 320,014,033円 H21仮定額 316,008,687円 差額 4,005,346円  差額合計 49,643,429円	平成22年 3月 平成22年度上期薬品競争見積実施 6月 平成22年度上期価格見直し実施 9月 平成22年度下期薬品競争見積実施予定 12月 平成22年度下期価格見直し実施予定  平成23年 3月 平成23年度薬品競争見積実施予定  以降、業者選定・競争見積を実施予定
		[診療材料費] 平成21年 3月 平成21年度診療材料上半期競争見積実施 9月 平成21年度診療材料下半期競争見積実施 平成22年 3月 検査試薬競争見積実施	※薬品費と同じ手法で比較 <診療材料>4月～9月 H20購入額 726,657,476円 H21仮定額 720,250,748円 差額 6,406,728円  <診療材料>10月～3月 H20購入額 795,207,778円 H21仮定額 787,844,077円 差額 7,363,701円  <検査試薬>4月～3月 H20購入額 153,965,398円	平成22年 3月 平成22年度上期診療材料競争見積実施 平成22年度検査試薬競争見積実施 9月 平成22年度下期診療材料競争見積実施予定 平成23年 3月 平成23年度上期診療材料競争見積実施予定 平成23年度検査試薬競争見積実施予定

			H21仮定額 153,259,725円 差額 705,673円  差額合計 14,476,102円	9月 23年度下期診療材料競争見積実施予定
③	その他経費の節減	[旅費] 関係市の状況調査	日当に関する規定を収集し、4市の状況を調査しました。	妥当な水準について検討し、規定を改正します。
		[光熱水費] 電気料金・ガス料金・空調機の運転スケジュール及び温湿度を前年度比0.5%削減	<使用量> 電気 平成20年度11,357,310kwh 平成21年度11,509,908kwh 1.3%増 ガス 平成20年度 2,655,286m <sup>3</sup> 平成21年度 2,631,634m <sup>3</sup> 0.9%減  <料金> 電気 平成20年度 173,857,880円 平成21年度 142,404,038円 18.1%減 ガス 平成20年度 176,585,735円 平成21年度 130,510,853円 26.1%減  ※電気は使用量増(透析・工事等による) ※料金は電気・ガスとも原油値下がりによる単価減による(ガスは使用量減)	引き続き節減に努め、空調機の運転スケジュール及び温湿度を検討します。
		[ごみ処理費] ①不法投棄の呼水となる敷地内の粗大ゴミの処理 ②院内廃棄物分別・梱包及び処理要領を職員に再度周知した。(グループウェア上の日報による周知)	①処理済 ②ゴミ削減の啓蒙活動をしたものの、患者増、医療安全対策強化により、平成20年度と比較して感染性廃棄物(廃プラ含む)13,985kgの増加(収集運搬費、処分料1,395,047円の増)。一般ゴミは20,410kg(資源ゴミを除いた場合は13,860kg)の増加(委託料は112,770円増)。	引き続き啓蒙活動に取り組めます
	[分院敷地賃借料] ○賃借料の支出減 駐車場敷地取得(6月22日)	予算額 1,393千円 執行額(4~6月分) 450千円 削減額 943千円		
④	不採算部門の見直し	[予定] 7月 部門別原価計算システムを導入している他施設の情報収集 8月 他施設訪問。現場確認 9月 ソフト会社による説明、デモ実施 [実施] 8月	システム導入に備えた人員を確保	4月 旭中央病院視察 7月 ソフト会社の原価計算ソフトの新商品について検討

		旭中央病院訪問。現状システムの資料等を収集 2月 ソフト会社によるデモ実施 10月～3月 ・システム導入の予算措置 ・機器の選定 ・人員の確保		
⑤	業績評価制度の導入	「君津中央病院企業団職員人事考課規程」を制定(平成21年4月)し、規程に基づき、平成21年9月に人事考課を実施。医師は全員、その他は係長級以上の者を対象として実施	評定者の被評定者(部下)の人事管理の徹底を図ることができました。	引続き、人事考課を行い、給与への反映を検討します。

## 2 経営の安定と医療サービスの充実

### (1) 医療提供体制の整備

#### 1 地域医療連携の推進

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	関係医療機関との役割分担	地域連携パス*4 を実施	千葉県共用脳卒中地域連携パス診療計画書を基に地域医療機関と協議し、地域連携パスを実施。	○病診推進会議、医療連携の集い等を定期的開催し、継続した開業医への啓蒙活動を行います。 ○診療科毎の症例検討会を奨励します。 ○地域連携パスを推進します  これらにより、関係医療機関との適切な役割分担を図ります。
②	広報紙による周知	患者に医療機能分担や医療連携に関する理解を得て、紹介状持参患者増加に繋げるためポスター作成	紹介状持参患者数 平成20年度 12,841件 平成21年度 13,871件(8%増) 地域連携支援病院紹介率 平成20年度 40.7% 平成21年度 49.4%(8.7%増)	○地域医療機関との連携強化 ○地域医療連携のネットワーク構築
③	地域連携パスの検討	10月～11月 整形外科と脳神経外科の地域連携パス資料収集 10月 「千葉県共用地域医療連携パスの普及協力医療機関」の申請 12月 千葉県共用脳卒中地域連携パス診療計画書を基に地域医療機関と協議、脳神経外科で2例の地域連携パスを実施  今後も、対象症例には積極的に対応していく予定	平成22年度より地域連携診療計画管理料(900点)の施設基準を取得	地域連携パスの作成、実施 ○地域連携パス、臨床パス委員から各診療科に提案、調整 ○地域連携室と医師会、関係地域医療機関に提案 ○地域連携パスを医師会や地域医療機関等と共同で検討実施

#### 2 医療安全対策

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	電子カルテシステムの	7月～10月 1. アンケート実施	「第三次情報システム整備事業」として、電子カルテ、オ	○「第三次情報システム整備計画(案)」の作成

	導入	2. 検討組織の設置 3. メーカー選定方針決定(システム拡張計画原案作成) 4. 実施計画作成 5. 予算要求 11月～ 導入準備(体制整備・現状分析)	ーダリングシステム、看護支援システムの要求仕様原案の検討に着手。ワーキンググループを編成し、「仕様原案」を取りまとめました。 (H21/7～H22/1)	○その他未完了作業への取り組み
②	医療安全対策の一層の充実	<医療安全研修会> 4月30日、5月8日 「新型インフルエンザと个人防护具について」 6月2日 「医療における倫理について」 6月2日 「肺動脈塞栓症の病態と予防について」 7月17日 「抗生物質の基礎知識について」 2月22日 「正しい抑制帯の使用法について」 3月12日 「コンパースメント症候群について」	職員の医療安全に対する意識啓発と事故防止対策等の情報の共有	継続的に医療安全研修会を実施します。

### 3 医療の質の向上

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	診療パフォーマンス*5の他施設比較	毎月 ・25日までに診療データを厚生労働省に提出 ・分析(出来高比較等)結果を医事委員会に報告 ・他の施設と比較し、クリニカルパス未実施の疾病について対応を検討 ・診療科別に医師と調整し新規のクリニカルパスを設定  7月 過去1年間におけるデータの分析 8月 他施設のクリニカルパス化状況の把握及び比較 9月 当院のクリニカルパス未実施の疾病について、他施設の実施内容をクリニカルパス委員会に提案 10月 各科医師との調整 11月 実施	○全診療科を対象にデータ毎に改善を要する・要しないものへ分類し、随時、診療部門と改善策を検討協議により実施、改善提案により重症化した事例を除き包括部分の抑制化に繋がっています。 ○DPC講演会等へ診療部門の積極的な参加が増えました。 ○出来高との前年比較(4月～3月)で3.18%→4.14%と増収効果が見られました。	平成20年度、平成21年度の科別の収益及び比較分析結果をクリニカルパス委員会に提出 検討修正事項を各科医師と調整
②	リニアック*6の更新	○平成22年度予算化(400,000千円) ○医療機械物流・管理委員会(予算案確認)	3か年計画どおりの進捗を達成できました。	平成22年 5月 医療機械物流管理委員会開催予定

				5月～6月 仕様書・設計書作成 6月 入札公告 入札、契約、発注 7月～3月 関係官庁(5ヶ所)へ申請 11月～12月 既設装置撤去改修工事 11月～3月 リニアック治療休止(10月 末に既設装置停止) 12月～2月 機器搬入、据付、調整、検 収 平成23年 5月 リニアック治療再開
--	--	--	--	--

#### 4 患者サービスの向上

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	患者満足度調査	満足度調査は実施できませんでしたが、院内に設置した投書箱から患者様の「声」を集め業務改善委員会で改善項目を協議 平成21年度におこなった主な改善項目は以下のとおり ①車椅子の増設 ②院内案内板の改修 ③感染予防のためのマスク配布 ④透析施設(4床)の開設	利便性の向上が図られました	患者様からの意見、要望等を収集し業務改善を行うため、満足度調査を行います。
②	外部評価の推進	6月 訪問審査受審 8月 中間結果報告 9月 補充的審査受審 3月 確認審査受審	(財)日本医療機能評価機構より条件付認定を受けました。(改善対策を実施する)	5月 改善報告の結果、本認定を受けました。
③	速やかな診療情報の提供	7月～10月 1. アンケート実施 2. 検討組織の設置 3. メーカー選定方針決定(システム拡張計画原案作成) 4. 実施計画作成 5. 予算要求 11月～ 導入準備(体制整備・現状分析)	「第三次情報システム整備事業」として、電子カルテ、オーダーリングシステム、看護支援システムの要求仕様原案の検討に着手。ワーキンググループを編成し、「仕様原案」を取りまとめました。 (H21/7～H22/1)	・「第三次情報システム整備計画(案)」の作成 ・その他未完了作業への取り組み
④	ホームページの内容充実	診療科の特徴や診療実績数値等を掲示	・掲載内容については、発生源の求めに応じて随時掲載を行いました。 ・新規ホスティング先を決定し、新病院サイトの公開作業に着手しました。	1. 新病院サイトの公開 2. ホームページ管理体制の整備(掲載内容管理とシステム基盤管理の分離)

#### (2) 診療機能の整備充実

##### 1 救急医療体制の充実

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	ヘリポート	7月	[工事費]	

	の整備	制限付き一般競争入札公告及び執行 8月 ・落札候補者の入札事後審査及び契約の締結(契約期間 H21. 8. 6～H22. 3. 10) ・新設ヘリポート工事着工 3月 ・新設ヘリポート施設竣工 ・新設ヘリポートの竣工引渡し及び既存ヘリポートからの運航移転	予算額 117,000,000円 契約額 79,564,800円 (変更契約含む)	
②	救命救急センターの充実	①救急専門医師の確保 ②ICU病棟の稼動病床の増加(許可18床→稼動9床)	①医師3名増 ②稼動病床12床	○引きつづき救急専門医師の確保を勧めます。 ○ICU病棟の稼動病床を増やします(看護師を確保)。 ○救急患者をできるかぎり対応し救命救急センターを充実させます。
③	ドクターカーの更新	平成21年 12月～2月 仕様書、設計書の作成 平成22年 2月25日 入札執行 3月3日 契約金額(26,859,000円) (※予算額43,920,000円) 3月31日 契約変更(納期の変更) 7月31日 納入予定日	3か年計画どおりの進捗を達成できました。	
④	災害医療対応マニュアルの見直し	次の3つの対応への取組み ①県外への派遣要請は、「千葉県DMAT運用マニュアル」に基づく対応 ②県内の地域で災害が発生し当院が被災していない場合は、当院への派遣要請は「千葉県DMAT運用マニュアル」に基づく対応。また、当院の受入れ要請の対応は災害マニュアルに基づく対応 ③当圏域が被災地の場合、千葉県災害対策本部を通じ県外からの派遣要請を行い、当院への受入れ対応は、災害マニュアルに基づく対応  ※当院の受入れについて ②③については災害の規模により異なりますが、全ての被災者の受入れは不可能なため、受入れ被災者と、他医療機関への被災者依頼及び県外DMAT隊員の受入れについてマニュアルを検討中	○3名のDMAT隊員を養成 ○八都府合同防災訓練のほか多数の災害医療訓練への参加による修練	平成22年度～23年度 被災者、DMAT隊員の受入れマニュアルの骨子・素案の作成 平成24年度 被災時シミュレーション訓練実施
⑤	新型インフルエンザ等	平成20年 10月	感染症指定医療機関として機能の向上	○新型インフルエンザ発生時の行動計画の一部を改訂

	感染症対策の充実	<p>新型インフルエンザ委員会設置</p> <p>11月 新型インフルエンザ発生時の行動計画策定</p> <p>平成21年 4月 ○新型インフルエンザ発生時の行動計画の一部を改訂 ○新型インフルエンザ患者受入体制整備</p> <p>5月 ○行動計画に基づいた内容の実施 ・患者受診フローの作成 ・職員への対応周知 ・个人防护具の整備 ・感染症病床の確保 ・感染症(発熱)外来の設置</p> <p>○受入開始</p> <p>6月 行動計画に基づいた疑い患者の受入実施</p> <p>10月 新型インフルエンザワクチン接種(医療従事者)</p> <p>11月 新型インフルエンザワクチン接種(受診中の重篤な基礎疾患を持つ患者)</p>		<p>○行動計画に基づいた内容の実施 ・患者受診フローの作成 ・職員への対応周知 ・个人防护具の整備 ・感染症病床の確保 ・感染症(発熱)外来の設置</p> <p>○行動計画に基づいた疑い患者の受入実施</p>
⑥	リニアックの更新【再掲】	<p>○平成22年度予算化(400,000千円)</p> <p>○医療機械物流・管理委員会(予算案確認)</p>	3か年計画どおりの進捗を達成できました。	<p>平成22年 5月 医療機械物流管理委員会開催予定</p> <p>5月～6月 仕様書・設計書作成</p> <p>6月 入札公告 入札、契約、発注</p> <p>7月～3月 関係官庁(5ヶ所)へ申請</p> <p>11月～12月 既設装置撤去改修工事</p> <p>11月～3月 リニアック治療休止(10月末に既設装置停止)</p> <p>12月～2月 機器搬入、据付、調整、検収</p> <p>平成23年 5月 リニアック治療再開</p>

## 2 外来施設機能の充実

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	透析センターの拡大【再掲】	○院内検討組織の設置 施設、設備計画、職員配置計画、収支計画等を検討	<p>8月・血液浄化療法センター開設準備室の設置 ・院内施設機能検討委員会血液浄化療法センター一部会構成員の選出</p> <p>9月・開設準備室会議の定例開催(毎週金曜日)</p>	平成22年度の拡大運用を目指します。

			→設置規模、場所等の検討 1月・実施設計委託 ・平成22年度当初予算における改修工事費の予算措置
--	--	--	--

### 3 施設・設備・機器の計画的整備

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	医療機器更新の計画策定及び実施	7月 医療機械・物流管理委員会開催(平成21年度購入機器の承認) 8月～3月 医療機械随時購入執行  8月～10月 平成22年度医療機械器具費予算要求ヒアリング 10月 次年度予算要求	医療機械予算額 本院 350,000,000円 分院 12,500,000円 合計 362,500,000円 医療機械執行額 本院 346,941,368円 分院 10,935,750円 合計 357,877,118円  執行残 4,622,882円	5月 医療機械・物流管理委員会開催 平成22年度購入機器の承認 5月～3月 医療機械順次購入 8月～10月 23年度医療機械器具費予算要求ヒアリング 10月 次年度予算要求
②	地上デジタル放送への対応	地上波デジタル放送アンテナ未対応箇所の確認及び予算化 ①看護学校、学生寮 ②大佐和分院 ③看護師寮	○看護学校・大佐和分院にて予算化 ○看護師寮は現設備で対応可	○看護学校・大佐和分院にてアンテナ等設置工事予定 ○病室のテレビ付き床頭台は6月末で更改予定 ○その他院内にて使用するテレビは平成22年度に台数等を調査し、平成23年度予算要求予定
③	大佐和分院の敷地取得	関東財務局千葉財務事務所より分院駐車場部分(2,867.01㎡)を購入 購入金額 31,500,000円 (平成21年6月22日契約)	計画どおり実施	
④	分院整備計画案の作成	院内準備委員会の検討(1月)	今後の事業及び施設機能のあり方について、委員会の設置に向けての協議	4月 院内準備委員会の設置 4月～3月 今後の事業及び施設機能について調査検討

### (3) 事務処理の効率化等

#### 1 情報システム整備

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	医療情報基幹システムの更新・機能拡張	サーバー装置の保守期限到来により無保守状態となる主要業務システム(オーダーリングシステム、医事会計システム看護支援システム)の更改についての検討	○電算化運営委員会医師委員を含めたグループ検討によりサーバー更新方針決定 ○主要業務システム(オーダーリングシステム、医事会計システム、看護支援システム)のサーバー装置等の更改実施計画作成 ○更改のための予算措置	サーバー装置等の入れ替えの実施
②	医療情報各部門システムの更新	1.検査部門システム更新 2.放射線部門システム更新 3.再来受付システム更新	放射線部門システム機器の更新を実施	検査部門システム、薬剤部門システム他、更新未対応システムの更新

		4. 財務会計システム更新 5. 調剤支援システム更新 6. 次の部門システムの更新計画作成、予算化 ○リハビリテーション業務 ○給食管理業務部門システム ○外来呼出システム ○ナースコールシステム 7. その他更新対象システム洗い出し		
③	事務管理業務のシステム化	○事務管理部門でのシステム化要求の洗い出し ○システム化の検討、資料・見積等入手 ○予算要求	未着手	継続検討
④	医療情報基幹システムデータの二次利用基盤の構築	○要求概要の洗い出し ○検討組織の設置とシステム化検討 ○システム化提案の依頼	未着手	継続検討
⑤	システム基盤の拡張・整備	7月 各病棟への端末増設 8月 旧式機器の更新計画作成 10月 予算要求	①CT、MRのフィルムレス化への対応として、以下の対応を実施 ・各病棟多目的室に病状説明用の画像端末を設置(4月) ・外来手術、救急外来、X線TV室、アンギオ室、内視鏡室へ2面モニタ端末の設置を実施(5月～9月) ②病棟看護単位当たり1台の業務端末の増設を実施(8月) ③処置票プリンタ全30台の更新を実施(3月)	更新計画作成とそれに基づく機器増設・更新の実施
⑥	インターネット利用環境の整備	1. インターネット接続環境の拡張 ①インターネット利用基準の作成 ②前項に基づく機器配置計画の作成及び予算要求 2. 電子メールアドレスの個人配付 ①電子メールサーバの見直しと変更	新規ホスティング契約により電子メール配付範囲の拡張の基盤を整えました。	○インターネット利用基準の作成 ○インターネット機器配置計画に基づく機器の設置
⑦	ネットワーク設備の更新	1. ネットワーク設備の更新 ○更新・増設対象機器の検討 ○障害対策用予備機の調達 2. 病棟無線LANの整備 ○無線LAN適用範囲の検討	○業務システムサーバーが集中する情報処理室及び臨床検査室内に機器増設を行い負荷分散を実施 ○病棟無線LANについては、仕様検討と導入費用に関する情報収集に着手	○院内ネットワーク更新・増設計画の作成及び予算要求 ○障害対策として更なる予備機調達の推進
⑧	情報システムの適切な管理の実施	○システム管理体制 ○管理手順の検討 ○ウィルス対策の実施 ○システム管理規程の整備 ○システム管理基盤整備計画作成(システム基盤、物理的管理)	ウィルス対策製品の導入	○未完作業の継続 ○サーバー室入退管理対応 ○汎用ソフトウェアライセンス追加

⑨	学籍管理システムの更新	ハードウェアの整備	業者との調整が進まず、ハードウェアは年度内に納品となっているものの、3月末現在で運用は開始していません。現在、データの取込み及び帳票類のレイアウトを作成中です。運用は6月1日の開始を予定しています。	新システムの有効活用
⑩	紹介患者管理機能のシステム整備	○システム化要求の洗い出し ○システム化提案の入手	未着手	継続検討

## 2 組織・機構の見直し

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	病院各部署の改革	病院の戦略部門における部門横断的な職員配置を推進するため、組織を新設 ①医療技術局内に「治験事務局」を平成21年7月に設置 医療技術局 2名 事務局 1名 ②事務局内に「血液浄化療法センター開設準備室」を平成21年8月に設置 医務局 2名 看護局 1名 医療技術局 1名 事務局 4名	事務事業の効率化及び部門間の連携の強化を図ることができました。	組織・機構の見直しを行います。
②	責任体制の強化	会議等を定期的開催し、各部門間の連携の緊密化及び情報の共有化 ①管理運営会議(局長级以上)…毎週1回 ②代表者連絡調整会議(次長级以上)…毎月2回 ③病院運営連絡会議(部長级以上)…毎月1回	各部門間の連携の緊密化及び情報の共有化を図ることができました。	引続き会議等を開催し、各部門間の連携を図ります。
③	給食業務の改善	臨床栄養科の勤務体制の調査を実施	現状の勤務体制の確認ができました。	直営と委託との比較検討
④	診療報酬請求事務委託の検討	7月～10月 業務委託内容の調査、検討 8月～11月 業者ヒアリング実施(大手2社) 11月～12月 委託費用の調査 1月～2月 業務委託、人材派遣化に関するの現有との比較、分析 費用対効果の検討	労務管理の向上 ※現状課題 医事課の職員構成は正規職員19人、臨時職員22人、時間制臨時職員6人。 臨時職員の時間外勤務は月平均30～40時間となり、保険請求業務を臨時職員に業務依存している状況です。 病院全体の臨時職員を含めて処遇の検討をする必要があります。	○業務委託内容の調査、検討 ○委託費用の調査 ○業務委託、人材派遣化に関するの現有との比較、分析 ○費用対効果の検討 ○業務委託検討委員会への提案

## 3 看護学校等の整備

No.	項目	平成21年度の達成状況		平成22年度の計画
		取組内容	成果	
①	看護学校等	学内準備委員会の設置検討	学内準備委員会の設置(12月)	○厚労省の基本方針により、

	の機能等の検討		・課程(3年課程を継続)、定数の検討を実施	課程の変更及び学校建設の基本案構築を検討します。
②	看護学校整備構想等の作成	施設・設備の効率的配置及び経済的建設案の策定の参考とするため、他校の建設関係の情報を取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校機能を向上させるため施設整備を核とし、視聴覚室情報科学室、教育器材整備室保健室、多目的室、講師控室(応接室)、職員休憩室、男女別シャワールーム等、施設整備案の検討</li> <li>○入寮生の生活支援の一環として、地デジ受信設備を予算措置</li> <li>○男子学生増員に伴うトイレ増設を予算措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(仮称)学校病院合同建設委員会の設置</li> <li>○施設整備案の具体化の推進</li> <li>○学生寮の地デジアンテナ設置工事</li> <li>○男子トイレ増設工事</li> <li>○引続き優良看護学校の視察を実施</li> </ul>

【用語解説】

\* 1 地域医療支援病院

医療は身近な地域で提供されることが望ましいという観点から、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を地域における第一線の医療機関として位置付けるとともに、これらの医療機関を支援し、二次医療圏単位で地域医療の充実を図る病院として地域医療支援病院制度を医療法上位置付けたものです。病院からの申請により知事が承認するもので、承認を受けるためには、病床数、紹介率等が要件となっています。

\* 2 D P C

Diagnosis Procedure Combinationの略で、従来の診療行為毎に計算する出来高払い方式とは異なり、入院患者の病気とその症状を基に国で定めた1日あたりの定額の点数からなる包括評価の範囲(投薬、注射、入院料等)と出来高評価の範囲(手術料、麻酔料等)を組み合わせて診療費を計算する方式です。

\* 3 M S W

Medical Social Workerの略で、医療ソーシャルワーカーを意味します。社会福祉の理論と技術を習得した社会福祉専門職をソーシャルワーカーと呼びますが、特に医療福祉分野で相談業務に従事する専門職を医療ソーシャルワーカーと呼びます。

\* 4 地域連携パス

疾病別に地域の保健・医療・福祉関係者の具体的なケアやサービスの手順を示した計画であり、サービス提供者と患者用で1セットとなるものです。

\* 5 診療パフォーマンス指標

D P Cデータの分析結果を定期的に医師へフィードバックすることにより、医療の質と経済性の改善を目指すものです。

\* 6 リニアック

電子を高速に加速して金属ターゲットに当てX線を発生させる医療用直線加速装置(Linear accelerator)の略で、X線や電子線の出力量が大きく、短時間の照射で広域にわたる治療ができます。正常組織が受けるダメージが比較的緩いのが特徴となっており、頭部から手足にいたるまで全身に使用できます。

## 財務計画の達成状況

### 1. 業務予定量<本院>

(単位:人)

		計画数	予算数	決算数	達成率	備考
延 患 者 数	入院	215,350	202,575	202,958	94.2%	
	外来	329,120	320,650	323,188	98.2%	
1 日 平 均 患 者 数	入院	590	555	556	94.2%	
	外来	1,360	1,325	1,335	98.2%	

### 2. 収益的収支計画<本院>

(単位:百万円)

		計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
患 者 1 人 1 日 あ た り 診 療 額	入院	48,200円	52,800円	52,591円	109.1%	
	外来	9,070円	9,430円	9,697円	106.9%	
本院事業収益		15,702	16,056	16,090	102.5%	
医業収益		13,895	14,250	14,292	102.9%	
入院収益		10,380	10,696	10,674	102.8%	
外来収益		2,985	3,024	3,134	105.0%	
その他医業収益		530	530	484	91.3%	
医業外収益		1,807	1,806	1,798	99.5%	
負担金交付金		1,378	1,377	1,380	100.1%	関係市負担金 1,371
本院事業費用		15,672	16,026	15,843	98.9%	
企業団管理費		2	2	2	100.0%	
医業費用		14,869	15,206	14,987	99.2%	
給 与 費		8,406	8,406	8,332	100.9%	
材 料 費		3,439	3,776	3,776	91.1%	
経 費		1,661	1,661	1,540	107.9%	
減価償却費		1,281	1,281	1,270	100.9%	
資産減耗費		12	12	15	80.0%	
研究研修費		70	70	54	129.6%	
医業外費用		801	818	854	93.8%	
支払利息		387	387	387	100.0%	
経常損益		30	30	247	823.3%	
看護師養成事業収益		158	158	159	100.6%	
(負担金交付金)		129	129	129	100.0%	関係市負担金 129
看護師養成事業費用		158	158	131	120.6%	
特別利益		0	0	1	-	
特別損失		25	25	25	100.0%	
予備費		5	5	0	0.0%	
当年度純損益		0	0	251	-	

## 1. 業務予定量&lt;分院&gt;

(単位:人)

		計画数	予算数	決算数	達成率	備考
延 患 者 数	入院	11,680	11,680	12,028	103.0%	
	外来	62,920	62,920	54,482	86.6%	
1 日 平 均 患 者 数	入院	32	32	33	103.1%	
	外来	260	260	225	86.5%	

## 2. 収益的収支計画&lt;分院&gt;

(単位:百万円)

		計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
患 者 1 人 1 日 あ た り 診 療 額	入院	28,000円	28,000円	26,894円	96.1%	
	外来	5,027円	5,027円	5,202円	103.5%	
分院事業収益		695	695	658	94.7%	
医業収益		679	679	639	94.1%	
入院収益		327	327	323	98.8%	
外来収益		316	316	283	89.6%	
その他医業収益		36	36	32	88.9%	
医業外収益		16	16	19	118.8%	
負担金交付金		0	2	4	-	関係市負担金 0
分院事業費用		694	694	616	112.7%	
医業費用		674	674	598	112.7%	
給 与 費		471	471	429	109.8%	
材 料 費		92	92	82	112.2%	
経 費		80	80	58	137.9%	
減価償却費		27	27	27	100.0%	
資産減耗費		2	2	1	200.0%	
研究研修費		2	2	1	200.0%	
医業外費用		20	20	18	111.1%	
支払利息		8	8	8	100.0%	
経常損益		1	1	42	4200.0%	
特別利益		0	0	0	-	
特別損失		1	1	1	100.0%	
当年度純損益		0	0	41	-	

### 3. 資本的収支計画

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
資本的収入	19	31	51	268.4%	
企業債	0	0	0	0.0%	
出資金	0	0	0	0.0%	
他会計負担金	0	0	0	0.0%	
国県補助金	19	31	44	231.6%	
長期貸付金返還金及び返還免除金	0	0	7	-	長期貸付金返還分
資本的支出	2,404	2,432	2,279	105.5%	
建設改良費	698	723	580	120.3%	
建設工事費	117	117	83	141.0%	
設備費	495	520	465	106.5%	
土地購入費	86	86	32	268.8%	
企業債返還金	1,667	1,667	1,667	100.0%	
国県補助金返還金	0	3	3	-	長期貸付金返還分
投資及び有価証券取得費	38	38	29	131.0%	
予備費	1	1	0	-	
差引資金不足額	2,385	2,401	2,227	107.1%	

### 4. 内部留保資金の計画

#### (1) 損益勘定留保資金

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
過年度損益勘定留保資金	3,633	4,033	4,033	111.0%	
当年度損益勘定留保資金	1,462	1,462	1,453	99.4%	
留保資金使用額	2,228	2,244	2,069	92.9%	
翌年度繰越額	2,867	3,251	3,417	119.2%	

#### (2) 法定積立金等

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
減債積立金残高	157	157	157	100.0%	
財政調整積立金残高	0	0	0	-	
積立金取崩額	157	157	157	100.0%	
翌年度繰越額	0	0	0	100.0%	

### 5. 構成市からの負担金

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
本院事業	1,371	1,371	1,371	100.0%	
分院事業	0	0	0	-	
看護師養成事業	129	129	129	100.0%	
合計	1,500	1,500	1,500	100.0%	

## 6. 企業債

### (1) 企業債償還額

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
元金償還額	1,667	1,667	1,667	100.0%	
利子償還額	396	396	396	100.0%	
合計	2,063	2,063	2,063	100.0%	

### (2) 企業債残高

(単位:百万円)

	計画額	予算現額	決算額	達成率	備考
元金予定残高	21,888	21,888	21,888	100.0%	
利子予定残高	3,820	3,820	3,820	100.0%	
合計	25,708	25,708	25,708	100.0%	

## 7. 経営指標

		計画額	21年度	達成率
病床利用率	本院	89.3%	84.2%	94.3%
	分院	88.9%	91.5%	102.9%
経常収支比率	本院	100.2%	101.6%	101.4%
	分院	100.2%	106.8%	106.6%
医業収支比率	本院	93.4%	95.4%	102.1%
	分院	100.8%	106.9%	106.1%
職員給与比率 (医業収益比)	本院	60.5%	58.3%	103.8%
	分院	69.4%	67.2%	103.3%
材料費比率 (医業収益比)	本院	24.8%	26.4%	93.9%
	分院	13.5%	12.8%	105.5%
企業債償還元金比率 (医業収益比)	本院	10.9%	10.6%	102.8%
	分院	21.7%	23.1%	93.9%
企業債償還利息比率 (医業収益比)	本院	2.8%	2.7%	103.7%
	分院	1.2%	1.3%	92.3%

### 【指標の計算式】

病床利用率＝延入院患者数÷延稼動病床数×100

経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100

医業収支比率＝医業収益÷医業費用×100

職員給与比率(医業収益比)＝給与費÷医業収益×100

材料費比率(医業収益比)＝材料費÷医業収益×100

企業債償還元金比率(医業収益比)＝企業債償還元金÷医業収益×100

企業債償還利息比率(医業収益比)＝企業債償還利息÷医業収益×100

## 経営改革委員会の評価

### 【君津中央病院企業団経営改革委員会委員】

君津中央病院長、君津中央病院副院長、君津中央病院大佐和分院長、君津中央病院事務局長、君津中央病院事務局次長、木更津市市民部長、木更津市財務部長、君津市保健福祉部長、君津市財政部長、富津市健康福祉部長、富津市企画財政部長、袖ヶ浦市市民健康部長、袖ヶ浦市企画財政部長

経営指標に係る数値目標の達成状況

#### 企業団

概ね数値目標を達成している。引続き次年度以降もこの達成率を維持していくよう努力する。

#### 木更津市

概ね数値目標を達成しているが、一部未達成項目があるので目標値達成に努められたい。なお、達成項目については、引続き、次年度以降もこの達成率を維持するよう努められたい。

#### 君津市

概ね数値目標を達成している。引続き次年度以降もこの達成率を維持していくよう努められたい。

#### 富津市

概ね数値目標を達成している。地域住民の生命と健康を守るセーフティネットの最後の砦として引続き経営の健全さを保持していくように努められたい。

#### 袖ヶ浦市

経営指標における計画数値は概ね達成されている。次年度以降も目標を達成するよう努められたい。また、未達成項目については達成できるよう努力されたい。

### 1 収支の改善

#### 1 医師及び看護師の確保対策

##### 企業団

医師・看護師確保が難しい社会情勢の中で、それぞれ増員が図られたことは評価できる。今後、医師は、減員となっている診療科等の増員を図りながら更なる医師の負担軽減策を講じ、また、常勤医不在の診療科の減少を目指す人員対策をとる。看護師等は、認定看護師等上位の資格を有する者の増員を図る。

##### 木更津市

概ね数値目標を達成している。引続き、次年度以降も達成率を維持するよう努められたい。

##### 君津市

増員目標を達成している。引続き次年度以降も達成率を維持し、確保困難な診療科の医師確保に努められたい。特に欠員している泌尿器科医師確保に努めるようお願いする。

##### 富津市

概ね数値目標を達成している。医師の確保については給与等の見直しを含め引続き努力されたい。医師・看護師の離職防止のためにも育児休暇等の取得のしやすさに工夫されたい。

##### 袖ヶ浦市

正規職員医師や看護師の確保については目標値を達成している。今後も引続き努力されたい。

#### 2 患者数の増加対策

##### 企業団

概ね数値目標を達成している。今後は、診療報酬制度の変化等時流を読み、単純な患者数（延受診者数）のみでなく実患者数の変化など、収益と患者サービス（質的配慮）を監視評価することが必要である。そして、引続き企業団が目指すべき病院作りを推進していく。

##### 木更津市

概ね数値目標を達成している。引続き、次年度以降も達成率を維持するよう努められたい。

##### 君津市

予約診療待ち時間は短縮されている。今後、透析センターの拡大に伴い更に患者数の増加が見込まれるため、外来患者の当日電話予約の拡大を検討され、患者サービスの向上に努められたい。

##### 富津市

概ね数値目標を達成している。現在の増加傾向を維持していくよう努められたい。診療科目の拡大もさることながら、泌尿器科、産婦人科等、特に住民ニーズの高い診療科の医師の確保に引続き努力されたい。

##### 袖ヶ浦市

予約診療待ち時間の短縮に努めるとともに、当日電話予約の拡大に向け検討されたい。

#### 3 収入の確保対策

##### 企業団

予定の半分程度の達成である。診療報酬加算に関する項目の対策を引続き検討すべきである。また、経

営改善職員提案制度については、職員からの自発的提案が出るよう対策を講じる。

#### 木更津市

概ね数値目標を達成しているが、病床利用率が低下傾向にあることから、十分な検証を行ない向上に努められたい。

#### 君津市

概ね数値目標を達成している。新規の医師作業補助加算の早期取得を実施し、診療報酬請求漏れ等に留意されたい。

#### 富津市

予定数値目標を達成していない。さらなる確保対策に努められたい。地域医療の充実の観点からも紹介率、逆紹介率の向上により、地域医療支援病院の承認が得られるよう一層の努力をお願いしたい。

#### 袖ヶ浦市

医師事務作業の軽減を図るとともに、病床利用の向上、結核病床転用について更なる検討を実施されたい。また、業務の効率化について職員提案がなされるよう周知に努められたい。

### 4 未収金の縮減対策

#### 企業団

社会事情等、病院側の努力だけでは解決できない問題もあるが、未収金になるべく発生しないための対策検討と、未収金の滞納を増やさぬための研究に努め、更なる縮減に努力する。

#### 木更津市

診療費支払方法の拡大の実施時期について、平成23年度当初導入に向けての準備に変更されているが、計画では平成22年度実施となっているので、平成22年度実施に向けた検討に努力願いたい。

#### 君津市

未収金の徴収に関しては、困難なものがあるため、事前に患者情報を診療科医に提供し早期MSWの介入等促進を充実し、徴収対策を更に強化されたい。

#### 富津市

予定数値目標を達成していない。さらなる縮減対策の強化に努められたい。債権回収業者への未収金徴収委託の実施について、前向きに検討されたい。

#### 袖ヶ浦市

クレジット払いの導入など料金支払方法を拡充されたい。また、未納者に対する法的手段の実施や債権回収の委託など未収金の縮減に努力されたい。

### 5 経営分析による経費削減対策

#### 企業団

研究、調査や工夫次第で目標達成の成果が出る分野であるため、次年度以降も引続き努力する。

#### 木更津市

○人件費の削減については、平成21年度は期末・勤勉手当、管理職手当等の削減を図られたが、医師以外の地域手当について、構成市の状況、特に、同一の市域に存在する木更津市の状況を勘案し、早急に削減方法を検討し、実施するよう努められたい。

○材料費の節減について、業者の見直しなどにより値引率の削減が図られているが、引続き、更なる値引率の向上に努められたい。

○その他経費の節減中の旅費（日当）について、企業団構成4市の状況調査が完了していることから、早急に見直しを図られたい。

#### 君津市

概ね数値目標を達成している。材料費等の節減には契約方法の見直しを含め、さらなる検討が必要と思われる。

#### 富津市

概ね数値目標を達成しているが、さらなる経費削減対策を強化されたい。光熱水費の節減について、某病院は水道の自己水源化等の工夫により高い収益をあげており、引続き努力されたい。

#### 袖ヶ浦市

人件費をはじめ諸経費の削減に努めるとともに、不採算部門の現状を分析し、経営の効率化に努力されたい。

## 2 経営の安定と医療サービスの充実

### (1) 医療提供体制の整備

#### 企業団

全般的に一定の成果を上げている。今後は電子カルテ導入や患者サービスの充実等に努力し、君津地域の中核施設として他医療施設との関係重視を図り、安全な医療の一層の向上を目指す。

木更津市

概ね数値目標を達成している。引続き、次年度以降も達成率を維持するよう努められたい。

君津市

速やかな診療情報の提供、電子カルテシステムの早期導入に努められたい。

富津市

概ね数値目標を達成している。紹介状持参患者数及び地域連携支援病院紹介率の向上並びに総合的な患者サービスの向上に引続き努力されたい。

袖ヶ浦市

地域の医療機関と連携を密にし、機能分担を推進されたい。また、患者満足度調査を継続して実施し患者の意見、要望を適格に把握するとともに、その実現に努められたい。

(2) 診療機能の整備充実

企業団

概ね予定通りに達成しており、一定の成果を上げている。計画的に整備されているので、今後も同様に実施していく。

木更津市

概ね数値目標を達成している。引続き、次年度以降も達成率を維持するよう努められたい。

君津市

概ね数値目標を達成している。医療機器の更新については、計画に基づき効率的な執行に努められたい。

富津市

概ね数値目標を達成している。救命救急センターの充実に向けて、一層の努力をお願いしたい。

袖ヶ浦市

救命救急センターの充実をはじめとして君津地域の中核的医療施設として、施設、設備、機器等の計画的整備に努められたい。

(3) 事務処理の効率化等

企業団

予定の半分以下の達成であるが、現在の情報システムの保持、利用については一定の成果を上げている。今後、電子カルテの導入やインターネット環境の整備等、更なる検討をもって目標値達成に努力する。

木更津市

事務管理業務のシステム及び医療情報基幹システムデータの二次利用基盤の構築については、平成21年度未着手、平成22年度継続検討とされており、計画上の予定より遅延しているため、目標達成に向けた推進に努められたい。

君津市

電子機器更新については、更新計画を作成し計画的に更新されたい。

富津市

概ね数値目標を達成している。システムの導入に当っては、更なる検討のうえ、事務の効率化を図られたい。診療報酬請求事務委託について、引続き費用対効果や事務の効率化における有効性を検証のうえ前向きに取り組まれたい。

袖ヶ浦市

各種事務作業のシステム化を拡充し、特に未着手のシステム整備について早急に検討されたい。また、機構、組織の見直し等事務の効率化や、各部門間の連携の緊密化に努められたい。

財務計画の達成状況

企業団

業務量は計画をやや下回ったが、業務内容の変化により収支面では予定をほぼ達成している。今後も社会情勢の変化を見ながら、更に努力する。

木更津市

概ね数値目標を達成している。引続き、次年度以降も達成率を維持するよう努められたい。

君津市

今後、更なる医師確保に努め、外来患者の数の増加に努められたい。

富津市

概ね数値目標を達成している。長期的、大局的な観点から国の動向に注視しながら、地域の中心的な病院としての健全さを保持されたい。

袖ヶ浦市

財務計画における計画数値は概ね達成されている。次年度以降も目標を達成するよう努められたい。